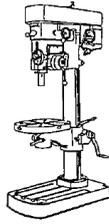
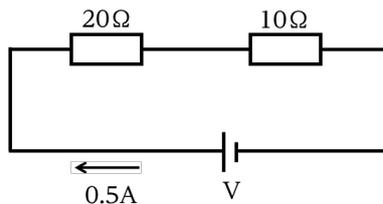


- 1 下図に示す工作機械は、フライス盤である。

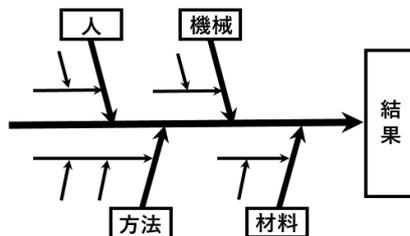


- 2 旋盤とは、工作物を主軸に取り付け、工作物を回転させながら加工を行う工作機械である。

- 3 下図に示す回路の電圧 V は、 $1.5V$ である。



- 4 2極と4極の三相誘導電動機を同じ電源で使用する場合、4極の回転数は2極の回転数の2倍になる。
- 5 事後保全とは、設備に故障が発見された段階で、その故障を取り除く保全活動である。
- 6 故障モードの例として、給油や増締めなどが挙げられる。
- 7 二次故障は、他の設備の故障などによって、間接的に引き起こされた故障である。
- 8 設備履歴簿には、設備の故障の内容や、修理に要した費用などの記録を残す。
- 9 品質管理において、下記に示す図は、特性要因図である。



- 10 正規分布の形は、中心線の左右で面積の等しい長方形である。
- 11 アルミニウムは、銅より熱伝導率が高い。
- 12 ステンレス鋼は、鉄鋼にニッケルやクロムなどを加えたものである。

- 13 金属の熱処理は、加熱温度や冷却速度などを調節することにより、性質を改良する加工方法である。
- 14 労働災害とは、労働者の就業に係る建設物や設備などにより、または作業行動その他の業務に起因して、労働者が負傷し、疾病にかかり、または死亡することをいう。
- 15 5Sにおける整頓とは、必要なものを必要なときにすぐに使用できるように、決められた場所に準備しておくことである。

- 16 ステッピングモータとは、1パルス信号ごとに一定角度回転するモータである。
- 17 電磁開閉器は、電磁接触器に熱動過負荷継電器を加えたものである。
- 18 フィードフォワード制御とは、目標値、外乱などの情報に基づいて、操作量を決定する制御方式である。
- 19 変位センサの1つとして、熱電対が挙げられる。
- 20 ファラデーの電磁誘導の法則によると、コイルの巻数を多くすると誘導起電力は小さくなる。
- 21 1Vの電圧で1Aの電流が流れたとき電力は、1Wである。
- 22 消費電力100Wの電熱器を1時間使用したときの消費電力量は、360kJである。
- 23 入力をA、Bとした場合、論理回路における「OR」は、「A・B」である。
- 24 アナログ式回路計(テスタ)で電圧・電流を測定する際は、最小測定レンジから順次上位に切り替えて測定する。
- 25 オシロスコープは、電圧の時間的变化を測定する計測器である。
- 26 地絡とは、2つの相、または3つの相の線間が負荷を通さずに接触した状態のことである。
- 27 圧着端子に記されている「2-6」は、 2mm^2 の電線を用いて、6mmのねじで取り付けることを意味する。
- 28 塩化ビニル樹脂は、絶縁材料である。
- 29 日本産業規格(JIS)によれば、下図は「リミットスイッチにおけるメーク接点」の電気用図記号である。



30 日本産業規格(JIS)によれば、下図は「接地」の電気用図記号である。

